

『進路希望調査用紙』に寄せられたご質問にお答えします。・・・ Part 3

～ 「効率の良い受験勉強の方法が知りたい」 特集です。～

『効率の良い受験勉強の方法を教えてください。』毎年のように同じ趣旨の質問が寄せられます。受験生として、また受験生をもつ保護者としては永遠のテーマであろうと思います。しかし、このテーマは実に難しいですね。なぜなら、一人ひとり皆状況が違うので、ある人にとってはとても効率の良い勉強方法でも、別の人にとってはやりづらい。ということも当然考えられます。誰にでもあてはまるというものはないでしょう。そこで、より多くのパターンを示した方がお役に立つのではと考えました。今回は3学年の先生方にお話をうかがいました。更に、昨年度も同じテーマに回答した経緯がありましたので、昨年度3学年の先生方いただいた回答も含めて紹介いたします。

(1) 『数学科、テスト活用編』

これから自分ができる問題・できない問題をはっきりさせた方が効率上がると思うので、例えば、到達度テスト(定期テスト)を受ける→間違えた問題を確認して教科書やワークで問題の解き方を確認する→その問題の類題(同じ形式の問題)を解いて定着を目指す。というのも1つの方法だと思います。数学は計算問題だけができれば公立入試で30点とれるという形式では昨年度なかったので、幅広く知識・技能を高めることが必要になってきます。

(2) 『英語科、いつ始める?... 今でしょ! 編』

「リスニング」「英作文」「文法・語彙」「長文読解」の4つが基本的です。まずは単語や連語の基礎を固めましょう。次に受験向けの総合問題集に取り組み、苦手な箇所を見つけ、何度も何度も練習します。最後に各学校の過去問に取り組みます。受験勉強は範囲が非常に長いです。秋ごろから頑張ってもいい結果は得られないでしょう。100m走とは違って、受験に【フライング】はありません。皆がスタートしていないであろう今!! 勉強をスタートするのです。

(3) 『国語... 編』

- ①漢字の「書き」の学習は、「小学校で学習した漢字」のうち、間違えやすいものや難しいものを中心に練習するようにする。学校で使っている漢字ドリルや総復習の問題集などの中から、「小学校で学習した漢字」のところだけ小テスト形式で1日20問くらいテストしていく。間違えた問題は、問題番号にグルグル印をつけておく。一通り小テストが終わったら、2回目は間違えた問題だけ取り組む。3回小テストをしても間違えた漢字は、紙に大きく書いてトイレのドアにでも貼っておく。
- ②「文学的文章の読解」や「説明的文章の読解」は、総復習の問題集を準備してどんどん問題を解いて学習していく。暗記することが目的ではないので、何回も繰り返し解くよりは、たくさん問題を解いていくことを意識する。間違えた問題は解答解説をよく読んで、どのように考えたらよいのかをしっかりと理解する。その際、本文に線を引いたり、囲んだり、自分の解答の改善すべき部分を書き込んだりすると良い。解説を読んでもわからなかった場合は、先生や保護者、友達に質問して理解できるようにする。
- ③「古文」「漢文」の学習は、まずは学校で学習した内容がしっかり理解できているか確認する。定期テストの問題をもう一度解いてみるのも良い。古文は歴史的仮名遣い、頻出の古語など。漢文は訓読の方法(返り点、送り仮名など)や書き下し文の書き方など。理解に不足があるようだったら、過去の教科書やノートを読み直し、過去の学校ワークの問題を解いたりしてしっかり理解しておく。また、総復習の問題集を解いて、最初の説明である「リード文」や最後の補足である「注」に解説がない言葉で意味が理解できていなかったものをチェックする。解説がないということは、中学校卒業時点で理解できてほしい言葉だということ。解答解説を読んで、言葉の意味を確認して暗記する。古語などは数が多いことが予想されるので、リストアップしておいて小テストしていくと良い。「古文」や「漢文」は内容を理解できないと、読解の問題が解けないことが多い。言葉の意味がわかれば、100%は難しくても大体の内容が把握できるようになります。

(4) 『学校の授業を大切に... 社会科編』

学校の授業を大切にすることです。その後、ワークなどでおさらいをします。ワークにある地理的分野の統計資料もやりましょう。歴史の場合は、「大日本帝国憲法」などの資料をよく見ておくことも必要です。

○夏休みは1年～3年1学期の内容を、問題集で繰り返すこともおすすめです。

○重要語句のチェックも忘れずに。

(5)『私、数学科だけど、英語編です。』

私が中学生の時、英語の勉強法で必ずやっていたのは、①『音読』 ②『主語と動詞の確認』でした。

- ①『音読』は、教科書の本文を読むたびにページの下の方に『正』の字で回数を記録していました。先生からは『100回読むように!』と言われていましたが、30回も読めばほとんど暗記することができます。
- ②『主語と動詞の確認』は本文の全ての文章に、『主語』は赤で線をひき、『動詞』は青で線をひくということをやっていました。英語の学習でポイントになるのは動詞であり、その動詞は主語によって変わるので、そこをおさえることが大事だと教えてもらいました。

私は、英語は得意ではありませんでしたが、この2つをちゃんとやっていた中学3年間は、それなりにできるようになりました。ぜひ参考にしてください!!

(6)『誘惑に負けない...編』

私は誘惑に弱いので、受験勉強においていくつかのポイントがありました。



1. 個室に入って集中する。
2. スマホなどは電源を切る。触れないところにしまう。
3. 休憩時間は、時間を決めてしっかり休む。
4. 必ず計画を立てる（計画通りにはいかないが、『いつまで、どれくら』とかいう目安が立てられます。）
5. 学校でとったノートの他に、内容をまとめたり、色をつけたりした『自分なりノート』をもう一冊つくる。
6. テスト前は、ひたすら問題を解く。（テストに出そうな問題を予想するのがポイント!）
7. ワーク等提出の時は、提出用ワークに書き込む前に、別の紙に書いて練習をする。
8. 夜、早めに眠れなくなったら、朝早く起きて勉強!
9. 暗記系はとにかく書く、とにかく毎日見る習慣をつけて覚える。声に出したり図にしてイメージで覚える。

(7)『一冊をひたすら...編』

高校生の頃の話です。それまで受験勉強を頑張ってきた私でしたが、高校に入学するとすぐに勉強をさぼり始めました。高校から先に目標と呼べるものがなかったからです。高校入学当初は、まあまあだった成績もきれいに右肩下がり。2年生の1月頃には400人中、350位近くの成績になり、自分でも驚きました。その頃、周囲の仲間たちは進路の話をするようになりました。やばい!と思いました。授業を頑張って聞き始めたものの、さっぱり内容がわかりません。数学や理科などは、もはや『何語?』という感じでした。

そこで、成績の良い何人かに、『どんな参考書や問題集を使っているのか?』を聞いてみました。2~3人が『これ、けっこういいよ!』と、同じ問題集の名前を挙げました。私には、もうそれに頼る以外の方法が浮かびませんでした。他の勉強方法も多少は試してみましたが、基本的にひたすらその問題集に繰り返し取り組みました。すると、今までかなり白い状態だった実力テストが、少しずつ黒くなり始めました。3年生の11月頃のテストでは、60位くらいの成績まで上がりました。私は、『評判の良い1冊をひたすらやり込む!』という方法で救われたと感じています。

(8)『社会科、ちょうど今頃から...編』

まずは、今くらいの時期（5~6月頃）に『入試の過去問』を解いてみました。（入学試験ってこんな感じなんだ...）ということがわかる程度でしたが、受験勉強を始めるきっかけとしては良かったと思っています。

社会科に関しては、学校で使っていた問題集を解くことをひたすら繰り返していました。たくさん問題集に手を出すよりも、1つの物にとことん取り組んだ方が効率がいいのかなと思います。まずは、基本の知識を完璧に!時代背景は、できるだけ授業でおさえて...。私は年号を覚えることが苦手だったので、『ワークの左上にあったなあ~、右下だったなあ~』のように、場所（図）で覚えていました。（あまり良い方法ではないと思いますが...）受験が近づいてくると、過去問をひたすらやりました。『あ!自分は仏教のところが苦手だなあ』とか『足利尊氏?義満?どっちが孫だっけ?義政は?義男?そんなのいたっけ?、区別ついてないなあ...』などと、自分の弱点が発見できて良かったです。それから、家ではなるべくゆったり過ごしたいなあ、という思いがあったので、授業を大切にするなど、学校にいるうちにできる限り、いろいろと終わらせるように意識をしました。目標をきちんと決めて取り組めば、それも可能だと思います。

(番外編)『カストーディアルキャスト』って何ですか?

A. 東京ディズニーランド(シー)で、ほうきとチリトリを持って園内掃除をしているスタッフのことです。単に園内をきれいにするだけでなく、お客様を守り、お客様のお役に立てるように心がけているそうです。

紙面の都合上、今回は8名の先生方のアドバイスを掲載しました。次号はゴールデンウィーク明けに発行する予定です。先日の『第一回進路希望調査』からも、まだまだ進路のことは「あまり考えていない」とい人も多いようです。ゴールデンウィークの時間を利用して、「考えるきっかけ」や「家族で話題にしてみる時間」をとってみたいいかがでしょうか。